

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35787
事業名	スクールソーシャルワーカー活用費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-211-3861
施策名	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸び					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	近年、児童虐待やヤングケアラー等、学校だけでは対応が困難な問題が顕在化しており、福祉の専門的な視点から助言や支援をするスクールソーシャルワーカーの重要性が高まってきている。 スクールソーシャルワーカーが子どもや家庭、地域など様々な環境へ働きかけ、関係機関とのネットワークを構築するなど、悩みや困難を抱える子どもが安心感、充実感を得られるような支援の充実が求められている。
	事業内容(何を実施し)	児童生徒の問題行動等の背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒がおかれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと考えられる。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用して問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを活用して問題の解決に当たる活動を進める。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	学校だけでは解決困難な事案に対して、関係機関と連携して対応するため、スクールソーシャルワーカーの体制を強化する。課題を抱える子どもの早期発見、継続支援につなげていくために、全ての市立学校に配置し、学校組織の一員として、年間を通じて定期的に関わることができるようにしていく。
	他都市の状況	文部科学省の補助事業であり、平成20年度から全都道府県計141地域に配置。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	24,071 千円	うち特定財源	8,007 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	25,000 千円	うち特定財源	8,333 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	24,567 千円	うち特定財源	7,997 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	68,000 千円	うち特定財源	20,256 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	スクールソーシャルワーカーの配置人数				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		SSW15、SV4	SSW15、SV4	SSW12、SV4	SSW10、SV5	SSW25、SV5	SSW25、SV5	
	↓							
	アウトカム成果指標1	スクールソーシャルワーカーが対応した件数				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		2152	2000	2304	3000	4500	4500	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方							
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	令和6年度から、スクールソーシャルワーカーを会計年度職員として各学校に配置し、支援が必要な児童生徒に定期的に関わることができるようにした。
来年度以降の方向性	スクールソーシャルワーカーを増員することで月に一度の学校いじめ対策会議への参加が可能となることと合わせて、困難を抱える児童生徒の早期発見、継続支援につなげていく。